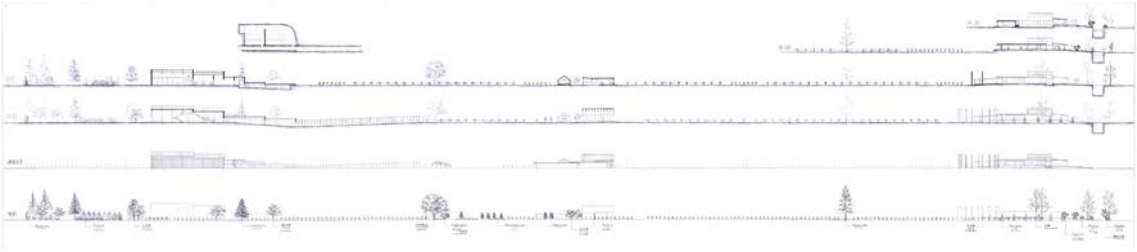
銀賞　竹下　恵君

札幌市立高等専門学校インダストリアルデザイン学科専攻科　余市のワイナリー

CAD による図面が並ぶ中、2m を越える 2 枚の手書き図面は、魅力的だ。全てを鉛筆で描ききった潔さとともに、丁寧な表現（やや力強さが欠けるが）は、集中した設計者の姿勢として、評価された。ただ、フィールドパターンと建築との融合や、ランドスケープ、空間性の魅力づけには、工夫の余地が残る。描ききったということで満足することなく、構想の提案力を高めること、一本の木を力強く、魅力ある姿に描く研鑽を続けて欲しい。何度も書き直し、手を加えることで、より印象的な魅力ある提案になるだろう。

（文責：渡邊　広明）